

週間感染症情報

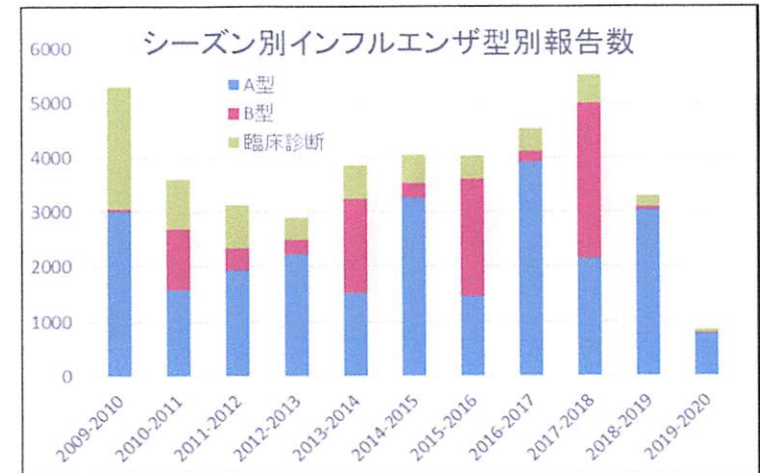
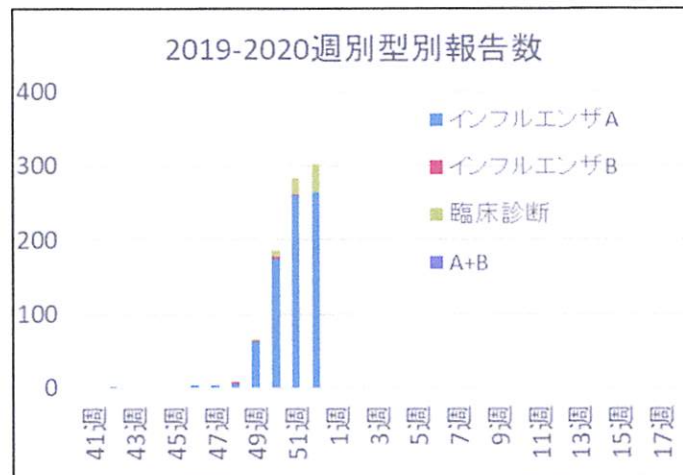
2019年51週 2019年12月16日より2019年12月22日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	
ムンプス(おたふくかぜ)	
百日咳	
溶連菌感染症	24
手足口病	2
ヘルパンギーナ	
伝染性紅斑	4
感染性胃腸炎	46
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	
伝染性膿痂疹(とびひ)	
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	2
RSウイルス感染症	
マイコプラズマ感染症	3
ヒトメタニューモウイルス	
インフルエンザ(臨床診断含む)	283
インフルエンザA	260
インフルエンザB	1

インフルエンザAの流行が例年より早く始まり、小児科外来は久しぶりに忙しくしています。12月27日までの報告のまとめです。52週は5日間で計302例(A 264 B 0 臨床診断 38)の報告がありました。25日より冬休みに入り、小児の報告は減少して、家族内感染での成人例や感染源不明の報告が増えています。昨シーズンは年末からはAH1pdm(いわゆる新型)が、その後AH3(香港型)が流行し、2回インフルエンザAに罹患例もみかけました。今シーズンの報告は、報告数は855例で、今のところインフルエンザA(AH1pdm)のようです。ワクチン接種歴の記載のある704例のうち 流行が早く始まったこともあり、未接種例が536例で(76%)でした。また、接種例は軽症例が多く、現在のインフルエンザAの流行に関してはワクチンの効果があった印象です。例年、吉備医師会の先生方の報告は3500例程度あります。冬休み明けに再び小児での流行が始まり、1月の中旬から下旬にかけてピークを迎えると予想されます。

手洗い、人混みではマスクを着用する、十分に睡眠を取るなど、体調管理に留意し、感染予防に努めてください。

2019年最後の報告となりました。吉備医師会の先生方のご協力にて情報発信を続ける事ができました。ありがとうございました。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> 変更になりました。)